

滿鐵密檔

滿鐵與侵華日軍（一五）

遼寧省檔案館編
廣西師範大學出版社

滿鐵密檔

滿鐵與侵華日軍（一五）

遼寧省檔案館編
廣西師範大學出版社

277

著電譯文

電報番號	15552	電信局	指定	發信者印	520
供覽	東亞課長		受付昭和	年	月
件名			日	時	分
受信者	總、廣務課長		發信者	上海事務所長	
自郵車用カリリン補充困難、大坂ノ分會 六〇番至急心送付ス、 便衣隊ノ市街踪跡、包圍攻撃空襲、受クモ 所々一同無ス。					

南滿洲鐵道株式會社

108

寫

著電譯文

文書番號	139。	發電	昭和	12	年	7	月	13	日	4	時	23	分	翻譯者印
電信局	指定	ウナヨイ	電報	昭和	12	年	7	月	13	日	4	時	23	分
電報番號	一一五	受電	昭和	12	年	7	月	13	日	4	時	23	分	
供覽	總庶務課長 人事課長 產庶務課長 文書課長 8月 日別途寫付済ミ													
件名														
受信者	鐵道總局長 東木亞課長													
發信者	天津無電													
上海事務部ヨリ上海大阪毎日ヲ通ジ下記無電アリシ 正金銀ヲ附近ニ猛烈ナル空爆ヲ受ケタルモ損害ナク 負金全部正金ニシテ佳結避難中ニシテ全負無事 尚關係ノ向キニ連絡シテフ														

110

寫

極秘

暗號

電譯文

文書 B九二	電報 社二九	供覽	件名	受信者	發信者	時間
		東亞 文書課長	東亞課長	(本日阪谷理事)(十河興中社長)同道參謀長	天津事務所長	12月11日 16時40分
				リ訪問北支 ナリ)	對策、就、進言スル等	

南滿洲鐵道株式會社

(12. 8. 500 冊 每日出版)

119



暗號
寫



著電譯文

文書番號	B-04	電信局	指定	電報番號	社一三三	供覽	件名	受信者
文書課長						文書課長 東亞課長 庶務課長		東亞課長
發信者						月 日 別途爲付済		天津事務所長
受信者								本日阪谷理事、十河興中社長、軍司令官、參謀長、大木戸參謀等ト協議ノ結果、支那側金融機關ト會見スルコトセリ

南滿洲鐵道株式會社

121



寫

著電譯文

文書係宛	電信局	電報番號	供覽	件名	受信者
B-06	指定	一三六	東亞課長 人事課長		東亞課長、地、衛生課長 山口醫院長
發電	受信	受信		發信者	天津事務所 救護班
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日			
15	12	12			
22	8	8			
時	月	月			
15	16	16			
分	日	日			
24	0	0			
分	時	時			
15	24	24			
分	分	分			
翻譯者印					

山口醫院ヨリ、派遣看護婦宇田ハ本日無事着

南滿洲鐵道株式會社

590

暗號

著電譯文

文書番號	B 九三	發電	昭和 12 年 8 月 14 日 12 時 40 分	翻譯者印
電信局	指定	電報	昭和 12 年 7 月 1 日 14 時 22 分	
電報番號	社 一 二 〇	受信	昭和 12 年 7 月 1 日 16 時 40 分	
供覽	東亞課長 文書課長 總庶務課長 人事課長	月	日	
件名				
受信者	東亞課長	發信者	天津事務所長	
石橋參事ハ正式ニ、天津陸軍機關員トシテ出勤、 伊藤、及利軍顧問ニ代リ執務スルコト、ナレリ、石橋 參事ハ同時ニ天津治安維持會、財政、社會兩 局、顧問ヲ兼スルコト、ナレリ、				

南滿洲鐵道株式會社

380



青駐庄三七第七四號

總東庶務第二號ノ80

昭和十一年八月十五日

東亞課長

青島在勤



東亞課長 殿

總務課長

武器送付方依頼ニ関スル件

当地時局切迫ニ乗リタルニ付、事務所設付用トモテ
尤、如ク適當ノ方法ニテ至急而送付相成度

一、モーセル 二部 二丁

二、 三部 二丁

一、彈丸 相当数

南滿洲鐵道株式会社

383

總裁室東亞課長

囑託將校經由

參一發第二三九八號

鐵道總局長

總裁室人事課長

經理部長

用度部長

北支派遣鐵道從學員ニ關スル件

寫配付済

滿鐵總文 37 第 44 號ノ 102

極秘

昭和十二年八月十六日

總東庶 37 第 號ノ 102
東條 英機

滿東軍參謀長



南滿洲鐵道株式會社
總裁 松岡 洋 右 殿

首題從學員ハ自今支那駐屯軍司令官ノ指揮ヲ受ケシメラレ度

天津派遣連絡員中所要ノ人員ハ支那駐屯軍隸下鐵道監部職員トシテ配屬

セシメラレ度

其ノ細部ハ現地ニ於テ協定セシメラレ度

北支ニ對スル從學員並資材ノ増減ハ嚴ニ當軍司令部ノ指示ニ依ラシメラ

レ度

384



天事變三七第二九五號

昭和十二年八月十六日

總東庶³⁷

南滿洲鐵道株式會社

天津事務所長 伊藤武雄

支那駐屯軍司令部
參謀長 橋本

群閣下

支那駐屯軍ニ社員派遣ノ件

貴軍宣傳班ニ派遣中ノ弊社員南一校、有馬春子歸連ノ爲左記ノ者ト交
代セシメラレ度履歷書相添及御願候

尙併セテ前記兩名ノ解囑手續相煩度

記

宣傳班淨書學務ノ爲派遣（八月十七日）

堤 ハツネ
細川 セツ



181

著電譯文

文書番號	B-184		發信局	指定	ウニヨイ	發信	昭和二年八月一日	時刻	一時四十三分	翻譯者印
電報番號	八二		受信	昭和二年八月一日	時刻	四時四十分				
供覽	總裁室東亞課長									
件名										
受信者	文書課長 ケウヤテチ カクヤテシチ ケシチ カシリテラサカ テンジチ テンシチ ネカレラ					發信者	鐵道總局長			
北支宛電報ハ鐵道電報關係諸規定其ノ他ニ定ムルモノノ外左ニ依リ取扱フ										
(一)電報ハ有線及無線電信ニ依リ特定地域間電送ス										
(二)電信施設ナキ地域ニ宛タル電報ハ特定箇所ヨリ列車便其ノ他適宜ノ方法ニ依リ送達ス										

南滿洲鐵道株式會社

182



(三) 電報ハ日文ヲ以テ記載スヘシ

但シ左ノ達參照過誤ナキヲ期スヘシ

(昭和十二年七月十二日鐵總工電三七第七號A七ノ一三)

寫配付先

總裁室各課長 經理、用度、產業、地方部長 撫順炭礦長

中央試驗所長 參與 監察役 經濟調查委員會委員長

技術委員會委員長



参 照

昭和十二年七月十二日 鐵總工電三七第七號A七ノ一三

達

時局ニ關スル電報發信及取扱方ハ左記ニ依リ機密保持ニ努メラルヘシ
 (一)天津方面ト發受スル社内無線電報ニシテ機密ヲ要スルモノハ暗號ヲ
 以テ記載スルコト

暗號ノ定メナキ場合ハ電文ノ作成及翻譯ヲ軍ニ依頼スルコト

(二)其ノ他ノ區間ニ在リテモ機密ヲ要スル電報ハ可及的有線ニテ送受ス
 ルコト之ニ依リ難キ場合ハ前項末段ニ依ルコト

寫

13
—
—
≡

文書課長	日 一 一 三	決定	重友	昭和	年	月	日	時	分	翻譯印
記録係				昭和	年	月	日	時	分	
配付係	玉隆公九三			昭和	年	月	日	時	分	16 時 15 分
供 覧	總庶務課長 東亞課長 月 別 送 付 済									
件 名										
受信者	東亞課長、福祉課長 發信者 青島駐在員									
總領事ヲ、山東方面居留民ニシテ大連經由内地ニ引揚ケル者ヲ滋鉄、大連市等ニテ適當才世ヲ願ヒホシトノ申出アリ、至急係方ノ返乞フ。										

勝了

内

著電譯文

文書番號	B 二二四	寄附	昭和	年	月	日	16時5分	翻譯印
發信局	指定 五五五	附電	昭和	12年	8月	16日	21時29分	
電報番號	五五五公二五	受付	昭和	年	月	日	23時30分	(印)
供覽	中西幹事 金田氏	 月 日 別途為送付済 						
件名								
受信者	東亞社長、總、廣務部長	發信者	上海事務所長					
竹負一同十了事務所、籠城以來絶、其 空襲卜便衣隊、活躍及租界、避難者 象、果動化、智丹、加フル、食料欠乏、米 困難、二連過、二境、又意氣、日印、然、夕、 同因、情、災、事務所、自衛、ス、外、途、是								



拳銃十 相畫部、彈丸及裝藥、防禦、
 火銃系、網具、他防禦、器具及白米、
 便、送、附、乞、了。